

経済建設常任委員長報告

委員長 高宮正行

経済建設常任委員会に付託された案件の主なものについて報告します。

議案第95号「阿蘇山公園道路の設置及び使用料徴収条例の一部改正について」

経済部長から、「本案は、阿蘇山公園道路における自転車の通行料金の取り扱いが曖昧であることから、条文に無料と明記し位置付けを明確にするため一部改正を行うものであります。」との説明があり、委員より、「改正条項内にある、市長は必要があると認めるときの減額、免除とは、どういう場合に認められるのか。」という質

疑があり、「観光課長から、「例えれば、道路が全面開通した際のオーナンゲイブメントやキャンペーン、その他様々な場面で関係車両の通行が必要な場合、減額、免除になるものと考えています。」との答弁がありました。

議案第96号「阿蘇市ユースホステル条例の廃止について」

経済部長から、「本条例に自転車の無料という言葉の明記は必要なのか。」との質疑があり、「場所によっては、自転車は通行止めという道路もあります、それと同様にしっかりと明記を行うものであります。」との補足説明があり、委員より、「廃止後の本施設の取り扱いについては、今後どのように考えていくのか。」との質疑が

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

委員より、「古閑の滝観光道路の現状復旧工事の内容についてお聞きしたい。」との質疑があり、「現地へのア

地利用の方法等については、現課での検討を行い、再度、本委員会において協議をさせていただきます。」との答弁がありました。

議案第99号「平成28年度阿蘇市一般会計補正予算について」

クセス道路の一つで、お借りしていた所有者の方から、土地の返還の申し入れがあり、その一部を現状復旧し返還するものであります。が、今後の通行に関して支障はありません。」との答弁がありました。



モデルコースを試走する九州各地のサイクリストたち

農政課所管分

委員より、「震災復旧緊急対策経営体育成支援事業について、現在までの補助申請の査定状況をお聞きしたい。」との質疑があり、農政課長から、「本事業については、現在もなお精査を続けているところですが、内容が専門的な部分もあり、交付額を決定するのにもう少し時間を要するものと考えています。」との答弁があり、また、別の委員から、「報道された補助交付額43億円について、今後の査定状況により金額は変わらのか。」との質疑があり、課長から、「査定に関しては、新たに市の基準も定め、これに沿ったヒアリングを行っています。今後、若干の金額の減少が予想されますが、本当に被災された方々への支援がもれることのないよう、しっかりと査定を行って参りま

A black and white photograph showing a large, white, cylindrical storage tank with a ribbed texture. Two metal hooks are attached to the top edge of the tank. The tank is situated on a grassy area in front of a building with vertical wooden slats or shutters. The lighting suggests it's daytime.

合併淨化槽設置工事

解決して進めて参りましたが、もう少し時間を要します。これからも関係者と協力して確実に業務を進めて参ります。」との答弁がありました。

止となつた場合、市はどのような対応を考えているのか。」といふ質疑があり、住環境課長から、「新設の補助金廃止については、県からの正式な通知はありません。県の担当によると、来年度も当初予算として要求し

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第100号「平成28年度阿蘇市下水道事業特別会計補正予算」

棄物ではありません。流出等も心配されないよう業者に協力いただき、適宜整地等を行つております。また、現地は、十分な許容量がありますので、問題は無いと考えています。」との答弁がありました。

額は変わらぬのか。」と
の質疑があり、課長か
ら、「査定に関しては、
新たに市の基準も定め、
これに沿つたヒアリン
グを行つています。今
後、若干の金額の減少
が予想されますが、本
当に被災された方々へ
の支援がもれることの
ないよう、しつかりと
査定を行つて参りま

建設課所管分

委員より、「阿蘇医療センターの取り付け道路に関して、年度内に完了するような話しあつたが、その状況はどうなっているの

か。」との質疑があり、土木部長から、「本事業に関しては、当時、関係者の方々との協議を重ねて事業を行つて参りましたが、その後に想定外の要望等も発生し時間を要するものとなりました。その一つ一つを丁寧に

材料を使用した補修等を行つて参ります。」との答弁がありました。

坂梨地区の採石場跡地へ運搬しており、12月6日現在で385tの処分を行いました。」との答弁があり、別の委員より、「処分に閑として環境上の問題等発生しないか。」との質疑があり、課長から、「火山灰 자체、産業廢

委員より、狩尾：区の被災地の復旧工事の状況をお聞きしたい。」との質疑があり、住環境課長から、「本来であるならば、道路復旧と埋設物の復旧は同時にやることが理想的であります。が、道路査定の状況もあって、下水管の埋設を行い、

建設課所管分

か。」との質疑があり、土木部長から、「本事業に関しては、当時、関係者の方々との

材料を使用した補修等を行つて参ります。」との答弁がありました。

坂梨地区の採石場跡地へ運搬しており、12月6日現在で385tの処分を行いました。」

委員より、狩尾一
区の被災地の復旧工事
の状況をお聞きした
い。」との質疑があり、
住環境課長から、「本

住環境課所管分

坂梨地区の採石場跡地へ運搬しており、12月6日現在で385tの処分を行いました。」との答弁があり、別の

委員より一狩尾山
区の被災地の復旧工事の状況をお聞きしたい。」との質疑があり。住環境課長から、「本來であるならば、道路

その後に道路の復旧にかかるという手順になつています。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「現在、整備されてい

る通称8m道路の工事と重なることで、迂回

する際、多くの方々が苦慮されるのでは。」

との質疑があり、課長

から、「その辺りは調整し、出来るだけ通行に支障をきたすことが無いよう、しっかりと計画して参ります。」との答弁がありました。

の両理事長の連名で提出され、内容は、今回

の災害復旧に関する農

家や土地改良区の自己

負担額について、平成24年の水害時と同様に

負担額を求めないよう

強く要望しますという

内容です。」との補足

説明があり、また、農

政課長から、「先に6

月3日付けで、市に対

して同様の陳情があり、

土地改良区に対して、

排水路や農道等、公共

性の高いものについて

は市での復旧とします

が、災害復旧の原則と

して、農家が所有され

る農地等は、個人の財

産ということもあつて、

どうしても自己負担が

発生します。しかしながら、少しでも農家負

ますと回答しました。」との説明がありました。

委員から、「説明のあつたりース事業は活用された農家の数は、どのくらいの件数であったのか。また、現

在、熊本県が検討している復興基金についての状況等お聞きしたい。」という質疑があり、課長から、「12月現在で103件の申請があり、およそ8

30万円の事業費になります。」との答弁がありました。

第、本事業も同様に活用して参ります。」とんが、内容が分かり次第、本事業も同様に活用して参ります。」と

の答弁がありました。

また、別の委員から、

「土地改良区が

把握する農家の方々の負担額はいくらなのか。」との質疑があり、農村整備係長から、「土地改良区から、農家の方々の負担額はいくらなのか。」との質疑があり、農村整備係長から、「土地改良区から、農家の方々の負担額等提示されていました。

意見が分かれましたので、挙手による採決を行った結果、採択、趣旨採択、同数となりましたので、委員長採決により、陳情第1号は趣旨採択すべきものと決定いたしました。

以上が、経済建設常

任委員会に付託されま

した案件についての報告です。

被災した農地（14工区）

委員より、
「農家の方々や、
土地改良区の願

意は十分理解でき
るが、今回の

農地被害は、平

成24年の水害の状況と

は大きく異なるもので

あり、また、今後の市

の復旧費用等踏まえる

と、願意を実現するこ

とは厳しいと思われる

まい。」と意見があ

り、また、別の委員よ

り、また、別の方々の負

担軽減を、市も何らか

の措置をとつていただ

くよう、議会として採

択し要望書等を提出す

ることが望ましいと思

われる。」との意見があ

りました。

意見が分かれました

ので、挙手による採決

を行った結果、採択、

趣旨採択、同数となり

ましたので、委員長採

決により、陳情第1号

は趣旨採択すべきもの

と決定いたしました。

以上が、経済建設常

任委員会に付託されま

した案件についての報

告です。

以上が、絏済建設常

任委員会に付託されま

した案件についての報

告です。</